

## 不整脈科のご紹介

心臓センター 不整脈科 部長 春名 徹也

平成 25 年、心臓センター循環器内科より、心臓電気生理部門の診療を担うべく不整脈科が分科しております。心臓血管領域の診療において、この 10 年間で、不整脈診療は理論から実践の時代に移り、大きく様変わりしております。例えば、頻脈性不整脈は、抗不整脈薬による対症療法からカテーテル・アブレーションによる根治的治療に移行しております。カテーテル・アブレーションの対象も、致死的心室頻拍や心房細動に拡大され、循環器日常診療において、カテーテル・アブレーションは不可欠なものとなっています。また、心臓外科併設施設に限定されている植え込み型心臓除細動器 (ICD) や心臓再同期療法 (CRT) の手術や管理も我々、不整脈科の特化した仕事のひとつです。

このような時代のニーズの中、最新の診断治療機器の導入 {カルト 3 システム、クライオ・アブレーション (平成 28 年 2 月導入予定)}、医師 (船迫宴福) の増員等もあり、当科のカテーテル・アブレーション件数も、今年は 130 件を超え、心臓センターの治療的手技の半数を占めるようになり、心房細動に至っては、心房細動アブレーション・ガイドラインのクラス 1 施設となっております。また、ICD/CRT 症例には、インターネットを通じた自宅管理システムを採用し、早期の問題検出と治療介入を積極的に行っております。

学術的にも、心房細動例のアブレーション前後の運動耐容能の変化や心臓再同期療法の適応決定のための一時的左室ペーシング等、患者さんの利益に直接つながる可能性のある臨床研究を行い、国内外において報告しております。

ただし、我々は、不整脈診療だけに特化して、症例数増加に専念するだけではなく、あくまでも循環器科医としてのセンスは失わず、患者さんに、より適切な循環器不整脈専門診療を提供することを心がけておりますので、今後ご指導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。

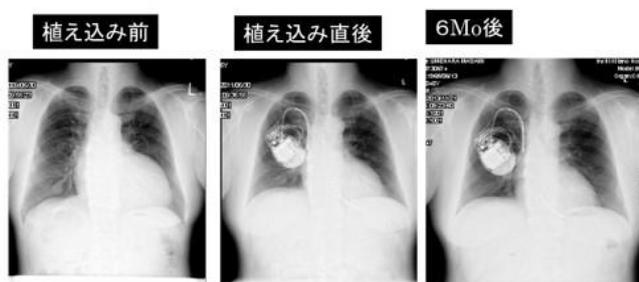


【左】春名徹也、【中央】関原孝之、【右】船迫宴福



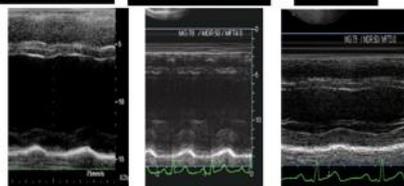
最新型カルト 3 visitag システムによるカテーテルアブレーション

### CRT-D implantation



### 心エコー所見のCRT植え込み後の変化

植え込み前 植え込み直後 6Mo後



LVEDD: 84 mm --> 69 mm-->58 mm  
LVEF: 14% --> 43%→50%

心臓再同期療法による心不全治療

## 部長就任のご挨拶

消化器外科 部長 森 章

平成 27 年 4 月に京都大学から当院に赴任し、10 月より消化器センター外科部長を拝命致しました。当科の診療をご紹介申し上げます。



### 1. 対象疾患

悪性：食道癌、胃癌、結腸直腸癌、GIST、肝細胞癌、胆道癌、膵癌、膵 IPMN、転移性肝癌など

良性：胆石症、急性胆嚢炎、急性虫垂炎、急性腹症、潰瘍性大腸炎、クローン病、鼠径ヘルニアなど

消化器内科と外科が連携し、症例ごとに手術適応を判断し、最新のエビデンスやガイドラインに基づいた治療法を速やかに提供しています。

### 2. 腹腔鏡手術

腹腔鏡手術は低侵襲であり、早期社会復帰が可能です。胃癌、大腸癌、肝癌、虫垂炎、胆嚢炎、鼠径ヘルニアなど安全性と根治性が確保できる症例に積極的にを行います。

### 3. 拡大手術

私の専門である肝胆膵領域癌手術は高侵襲ですが、根治性を追求できる症例に血管再建を伴った拡大肝切除術や膵頭十二指腸切除術を安全に行います。

### 4. チーム医療

術前から医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士によるチーム医療を行い、術後合併症を予防し、早期回復を実践します。

術後フォローに地域の先生方のご援助を仰げればこそ、継続した医療が可能になり患者に安心していただけます。「理性で疾患と闘い、心で患者を支える」をモットーに、患者中心の地域医療に微力ながら貢献させて頂く所存です。ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 看護部の組織体制の強化

平成 27 年 10 月より、看護部に新たに看護統括部長並びに看護部長(総務担当)を設置し、700 人規模である看護組織の細やかな看護管理並びに多職種連携や院外との連携拡充などを図るため、組織体制を強化しました。看護統括部長には、杉元佐知子が就任しました。

## 看護部長就任のご挨拶

看護部長 嶋田 加壽代

平素より北野病院に多大なご支援を賜り、有難うございます。このたび、平成 27 年 10 月より、総務担当の看護部長を仰せつかりました嶋田加壽代でございます。私は、1978 年に入職後、特別病棟、循環器内科・CCU、腎臓内科・内分泌内科・婦人科・乳腺外科、消化器センターに勤務してまいりました。約 16 年の病棟管理師長を経て、認定看護管理者の資格を取得後、管理部門で副看護部長として 3 年務めてまいりました。看護部としては“へだてなく、よりの確に、こまやかに”という魂の込められた理念を大切に、さらなる看護の質の向上をめざし、組織発展に寄与できるよう取り組んでまいります。なお、これからの保健・医療は「地域完結型」へと大きくパラダイムシフトしていきます。急性期病院として高度医療を提供している当院ですが、切れ目のない医療を提供すべく、地域の皆様と有機的に連携して、多くのご支援を賜りながら発展してまいりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 第3回災害対応訓練の実施報告

防災対策委員長 木内 俊一郎

平成27年10月25日（日）、毎年恒例としております災害訓練を行いました。医師、看護師、事務員の他、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師など、院内全ての業種から約250名が参加しました。想定した災害は日曜日の早朝に南海沖に地震が発生し、大阪市に震度7の揺れと約1メートルの津波が襲うというものとしました。さらに小児科病棟で電気系統火災が発生し入院患者が病棟から避難するという設定も追加しました。3回目の今回は、前の2回に参加した人が3分の1、訓練初参加が3分の2という割合にしました。経験者が未経験者の指導的役割も果たすことで訓練内容を充実させることと、病院全体の経験者数を確実に増やすことを目的としたものです。

今回は北区医師会にも御連絡し、当日5名の先生にご参加いただきました。災害発生後、当院から北区医師会に医師の応援を依頼し、それに応じてかけつけてもらうという想定とし、実際に緑ゾーンでの診療に参加していただきました。本物の大災害に備えて、院内だけでなく、地域の様々な組織と連携した訓練を今後も続けていく計画を立てています。



検査室（CT室）



北区医師会の先生方



防潮堤設置の訓練



簡易型防潮ダムシステムの設置

### 医師の人事情報（副部長以上）

入職（平成27年10月/平成28年1月）

氏名	職位	専門分野
小田 紘嗣(おだ ひろつぐ)	小児科 副部長	免疫、アレルギー、 遺伝性疾患
多喜 純也(たき じゅんや)	脳神経外科 副部長	脳神経外科全般

## 病院からのお知らせ

### ■医療従事者向け講演会

- 第9回大阪バイオリジックフォーラム  
～抗サイトカイン療法で変貌した炎症性疾患治療～

【日 時】平成28年2月20日(土) 16:30～19:00

【場 所】北野病院5階 きたのホール

<消化器疾患領域 特別講演>

座長：北野病院 消化器内科 主任部長 八隅 秀二郎 医師  
「生物学的製剤時代における潰瘍性大腸炎の新しい診療法について」  
東邦大学医療センター佐倉病院  
消化器内科 講師 竹内 健 先生

<リウマチ領域 特別講演>

座長：北野病院 リウマチ膠原病内科 主任部長 八木田 正人 医師  
「関節炎の鑑別診断と治療における医療連携の重要性」  
東邦大学医学部 内科学講座膠原病学分野  
(医療センター大橋病院 膠原病リウマチ科)  
膠原病リウマチ科 教授 亀田 秀人 先生

○北野 Stroke Forum

【日 時】平成28年3月24日(木) 19:00～20:10頃

【場 所】ナレッジキャピタルコングレコンベンション大阪 地下2階 Room8  
住所：大阪市北区大深町3-1  
電話番号：06-6292-6911

<講演1>

座長：北野病院 脳卒中センター長 岩崎 孝一 医師  
「超急性期脳梗塞治療の現状と取り組み」  
北野病院 脳神経外科 副部長 後藤 正憲 医師

<講演2>

座長：北野病院 脳卒中センター長 岩崎 孝一 医師  
「超急性期脳梗塞患者に対するrt-PA静注療法の投与時間短縮に向けた薬剤部の取り組み」  
北野病院 薬剤部 近藤 瑛子 薬剤師

<講演3>

座長：北野病院 神経センター長 松本 禎之 医師  
「病診連携報告」  
北野病院 神経内科 副部長 里井 斉 医師

※各会終了後、意見交換会の場をご用意しております。